

第 129 号

行政と町民の調和 (ハーモニー) 草津町議会だより Harmony



地熱発電視察（九州）「霧島温泉を守る会」との意見交換

主 な 内 容

- こんなことがきました・・・P 2
- 議案質疑・動議・・・P 3
- 委員会審査・報告・・・P 4
- 請願書・陳情書の結果・・・P 5
- 九州地熱発電視察報告・・・P 6
- 忙中感記・議会日誌・・・P 7
- 一般質問(6人)・・・P 8～13
- 町民ひろば・編集後記・・・P 14

平成 26 年草津町議会第 3 回定例会が、6 月 2 日から 6 月 6 日までの 5 日間にわたり開催されました。条例全部改正 1 議案、補正予算 1 議案、人事案件 2 議案と推薦 1 件、承認 8 件、報告 3 件がそれぞれ上程され、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

また最終日には追加議案 3 件を可決、一般質問では 6 名の議員が質問を行い、町の考えをただししました。

第 3 回 6 月定例会開催
(6/25/6)

議案第2号

平成26年度一般会計補正予算(第1次) (総 民)

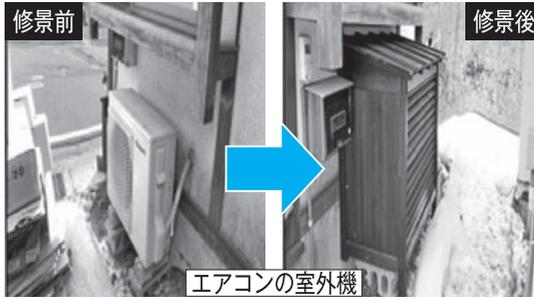
条例改正等

こんなことが
きまりました

総 は総務観光常任委員会に付託された議案
民 は民教土木常任委員会に付託された議案

補正額 +8,504万2千円	主 な 内 容	歳入	耐震対策緊急促進事業補助金	3,483万7千円	
総 額 38億224万6千円			歳出	旅館ホテル耐震診断事業補助金	1,741万8千円
				財政調整基金繰入金	2,000万 円
			旅館ホテル耐震診断事業補助金	6,967万4千円	
			社会保障・税番号制度整備費	557万2千円	
			養育医療給付費	440万 円	

○議案第1号 (総)
草津町景観条例の全部を改正する条例
今後100年先を見据えた町づくりを行うために、景観条例の全部改正を行いました。



○議案第5号
工事請負契約の締結契約の対象
小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事
契約金額
1億7千496万円
履行期間
平成26年6月6日～
平成26年12月26日
契約の相手方
武藤・柴山特定建設工事共同企業体

承認事項

◆町長の専決処分事項について承認しました。

平成25年度補正予算

承認第3号 一般会計(第8次)	補正額 +2,000万 円	総額 41億7,862万3千円	主 な 内 容	除雪対策	1,992万5千円
承認第4号 一般会計(第9次)	補正額 +5,750万2千円	総額 42億3,612万5千円		町費積立分	1億円
承認第5号 国民健康保険 特別会計(第3次)	補正額 -6,183万9千円	総額 10億306万9千円		街なみ環境整備	1,752万2千円
承認第6号 後期高齢者医療 特別会計(第3次)	補正額 -273万2千円	総額 8,500万 円	地方税法の改正に伴い、各関係条例の一部を改正しました。		
承認第7号 公共下水道事業 特別会計(第3次)	補正額 -485万8千円	総額 2億9,145万1千円	○承認第1号 草津町税条例の一部を改正する条例		
			○承認第2号 草津町都市計画税条例の一部を改正する条例		

発議 (議員提案)

○発議第1号

「手話言語法」制定を求める意見書

提出先 内閣総理大臣
厚生労働大臣
文部科学大臣・財務大臣

○発議第2号

日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

提出先 内閣総理大臣
総務大臣・外務大臣

人事案件

◆任期満了に伴い、次の方の任命・選任に同意しました。

○議案第3号

監査委員の選任に関する同意

・浅香 勝さん(新任)

○議案第4号

公平委員の選任に関する同意

・原沢金太郎さん(再任)
・吉田 隼雄さん(再任)

○推薦第1号

農業委員会選任委員の推薦

・一場 辰雄さん(新任)
・黒岩 卓議員(再任)
・山田 英器議員(再任)

○承認第8号

固定資産評価審査委員会の補欠委員の選任

・湯本富三郎さん(新任)

報告事項

◆次の事項について報告を受けました。

○報告第1号

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○報告第2号

平成25年度一般会計予算繰越明許費にかかる繰越計算書
翌年度繰越額
湯畑再整備事業
9千896万円

○報告第3号

小学校耐震補強事業
1億9千348万8千円

○報告第3号

平成25年度草津よいとこ元気基金の運用状況
基金積立額
2千774万6千988円

処分額内訳

・少子高齢化対策200万円
・障害者対策等、社会福祉事業200万円

繰越明許費って??

年度内に完了できない見込みのある事業等を、あらかじめ議会の議決を経て翌年度に予算を繰り越し、使用することです。

議案質疑

承認第4号について



黒石 卓議員

Q ①固定資産税と都市計画税の減額の理由は。また、たばこ税約8千万円の収収の中で、どうやって分煙対策していくか、中身の検討は。

A ②学校施設環境改善交付金が減額になった理由と工事内容は。

③小学校給食の原材料費が2百万円減額になった理由は。

A 税務課長

①主なものは倒産、破産により回収ができないもの、相続放棄によるもの。

A 観光課長

観光施設の分煙、よく精査していく。

A 教育委員会事務局長

②小学校の体育館の改修と耐震改修工事の関係で、事業費の減額と補助割合が変更になったため。
③給食費は当初の見込額が甘かった。

承認第5号について

黒石 卓議員

Q ①国保会計、医療費が減って減額になったこと

は良いが、一般会計から繰り入れが無くなるよう更なる努力と、今後国保税の改定もあり得るのかどうか。

②出産一時金が減額になった理由と今後の予測は。

A 町長

①一般会計からの繰入金は依然草津町は高い、健康推進事業も含め、国保会計の減額を進めていく。国保税の改定は状況を見ながら判断する。

A 住民課長

②出産育児一時金は25年度は減ったが今後の予測はつけられない。

議案第2号について



中澤広夫議員

Q 戸籍住民基本台帳費の団体内統合宛名システムは住基ネット関係のシステムか。

A 住民課長

各課でもっている個人情報番号管理しているシステムで、住基ネットとは別のもの。

黒石 卓議員

Q ①母子保健費の養育医療給付費増額440万円の内容は。
②教育費のへき地教育セ

ンター負担金の内容は。

A 健康推進課長

①養育医療給付費は、出生時に超低体重児とか心身に異常をきたした乳児について、必要な医療を給付するもので、3月に一人入院が決まったため、医療給付費の30%を公費として見込んだもの。

A 教育委員会事務局長

②へき地教育センターは長野原第一小学校に事務局を置いて、へき地教育の振興のための事業を行っている。今回の負担金は全国研究大会が今年度群馬県で開催されるための負担金。

議案第5号について



市川栄一議員

Q この事業の補助金の額はいくらか。

A 教育委員会事務局長

6千753万2千円



小学校体育館

動議

6月定例会初日の6月2日本会議において、桜井伸一議員より「観光協会への観光宣伝委託料の内、温泉感謝祭にかかる経費が不透明な部分があるので、この予算を町主催の観光イベントとして組替えが出来ないかどうかについて審議すべきである」との動議が提出され、賛成多数により議題となりました。



桜井伸一議員

委託料の5千400万円の内、いくら温泉祭りです使われているのか、決算はどうなっているのか。町長が言うお金を出しただけでは無責任すぎるという話の中で、町側もどのくらい理解しているのか。

また、温泉祭りは町のイベントとして位置付けるべきではないか。

町長

観光宣伝委託で5千

動議とは

議会の意思決定を求めて議員から提起される議案以外のもの、口頭又は文書で発議され、所定の賛成者があれば成立し、会議で了承されれば議題となるもの。

委員会審査・報告

総務観光常任委員会

(1)天狗山第一駐車場ビジタートイレについて公共下水道処理の方法に変更の報告がありました。

天狗山第一駐車場ビジタートイレのし尿処理方法の再検討の結果、浄化槽による処理からポンプ圧送により公共下水道の本管に接続する方法へ変更するとの報告がありました。

初期費用は若干高くなるものの、維持費用が4分の1ほどで済み、短期間に初期費用の差額分の回収が可能であること、また、閑散期から繁忙期まで変動する利用者数への対応が可能とのことです。

民教土木常任委員会

(1)下水道使用料について見直しを行いたいとの説明がありました。

公共下水道事業の安定化を図り、一般会計からの繰入金を減額していくために、来年度に、下水道使用料の見直しを行いたい旨の説明がありました。

(2)ゴミステーションの集積方法について

ゴミステーションが小動物に荒らされて汚くなっていると指摘し、当局より、長時間ゴミステーションにゴミが置かれていることが原因であるため、決められた時間外にゴミを出さないように、ゴミの集積方法について研究していくと回答がありました。

温泉温水対策特別委員会

(1)温泉の高度利用について検討するよう要望しました。

現在、高度利用を許可している施設の浴槽面積が許可湯量面積の200%未満が22施設、200%以上が6施設です。

委員から、「今後、新たに申請が出されたときには、浴槽面積を2倍未満に抑えるよう指導したらどうか」、「基本湯量を超過している施設があるので、条例にうたっている、定量バルブをつけさせるべき」などの意見を述べました。

現在、新規及び増量の温泉引用許可申請の受付を停止しており、今後、高度利用の申請が増加することが予想されるので、引き続き実態調査をして、限りある温泉をいかに有効利用できるか、検討するよう要請しました。

(2)熱交換器腐食原因が地震であるとの推測結果が出されました。

熱交換器腐食の原因について、調査委託をしている腐食防食学会より、報告書が提出されました。

試験の結果、中越地震や東日本大震災で生じたチタンプレート間の微妙な歪みが、その後のモーター等の振動によって腐食電流を発生させ、本体の腐食につながった可能性が高いとの推論が出されました。「今後、この対策案による熱交換器の設置を検討していきたい。」と報告がありました。



温泉の高度利用って??

温泉引用者が許可湯量の範囲内において、既存の浴槽の表面積を拡張すること。または、新たに浴槽を設置することです。



みなさんからの請願書・陳情書はつぎのとおりとなりました。

件名	請願・陳情等の要旨	請願・陳情者の氏名	付託委員会	審査結果
耐震改修促進法改正に伴う要望書	ホテル・旅館等の大規模建築物について、耐震診断を実施し報告することが義務付けられたことから、国、県同様に町においても補助制度を創設して下さい。	群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長 市川 捷次	民教土木 常任委員会	採択
耐震改修促進法改正に伴う要望書	ホテル・旅館等の大規模建築物について、耐震診断を実施し報告することが義務付けられたことから、国、県同様に町においても補助制度を創設して下さい。	草津温泉旅館協同組合 理事長 黒岩 裕喜男	民教土木 常任委員会	採択
手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書	手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、普及、研究することの出来る環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」の制定に向け、政府及び関係行政庁に意見書を提出して下さい。	中之条町聴覚障害者協会 会長 軽澤 高征	民教土木 常任委員会	採択 (意見書提出)
新聞への消費税軽減税率適用を求める陳情	消費税増税に伴い、複数税率の導入と新聞に対する軽減税率の適用を求める意見書を国に提出して下さい。	群馬県新聞販売組合 理事長 金井 美次	総務観光 常任委員会	審議未了
「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」提出についての請願	最低賃金の地域間格差をなくして大幅に引き上げ、中小企業支援策の拡充を実現するために、国及び群馬労働局長に対して意見書を提出して下さい。	群馬県労働組合会議 議長 真砂 貞夫 紹介議員 羽部 光男	総務観光 常任委員会	審議未了
2015年NPT再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書採択の請願	2015年NPT（核不拡散条約）再検討会議に向けて日本政府に対して核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書を提出して下さい。	原水爆禁止群馬県協議会 代表理事 滝沢 俊治 紹介議員 羽部 光男	民教土木 常任委員会	採択 (意見書提出)

請願・陳情は、町政などについて、皆さんが直接町議会に要望ができる制度です。

- 町議会に対する請願書の提出には、紹介議員が必要です。
- 陳情は、請願とほぼ同じ扱いですが、議員の紹介なしで提出できます。
- 採択となった請願・陳情について、執行機関は実行の義務はありませんが、議会の意思として十分に尊重されています。

請願・陳情の書き方

次の事項の記載をお願いします。
(決まった書式はありません)

- ① 請願(陳情)の表題・趣旨・理由
- ② 提出年月日
- ③ 請願(陳情)者の住所・氏名・印
- ④ 請願の場合は、紹介議員の署名
(または記名押印)
- ⑤ 連名の場合は代表者を記入し、名簿を添付する。
- ⑥ あて先・・・草津町議会議長

《請願書の書式例》

平成 年 月 日
草津町議会議長 様
請願者 住所
氏名 印
(ほか○名)
紹介議員(署名または記名押印)

○○○に関する請願書
請願の趣旨

請願の理由

《陳情書の書式例》

平成 年 月 日
草津町議会議長 様
陳情者 住所
氏名 印
(ほか○名)

○○○に関する陳情書
陳情の趣旨

陳情の理由

地熱発電事業の行政視察を議会議員10名、町側から町長、副町長、関係職員4名の総勢16名にて実施した。

視察先

鹿児島県霧島温泉郷にて地熱発電に反対している「霧島温泉を守る会」、噴気の停止した「えびの高原」、大小多くの地獄を持つ長崎県「雲仙地獄」、国内最大の地熱発電所、大分県「八丁原地熱発電所」、そして日本の温泉100選で草津に次ぐ2位で昨年視察に来て頂いた「湯布院」を視察し、観光協会を表敬訪問した。

地熱発電とは

地中深くまで複数の井戸を掘り、蒸気でタービンを回し発電をする。人工的に多量に取り出した蒸気は、温泉の源でもあり有限の資源である。地熱発電を開始し、数年で温泉が枯渇した等の地域もあり、草津町は白根山系での地熱発電に一貫して反対している。しかし福島原発の事故以降、国は再生可能なエネルギーとして、特に国立公園内での発電を推進している。近年のこのような動きに鑑み、今回の視察を計画した。

鹿児島県霧島市

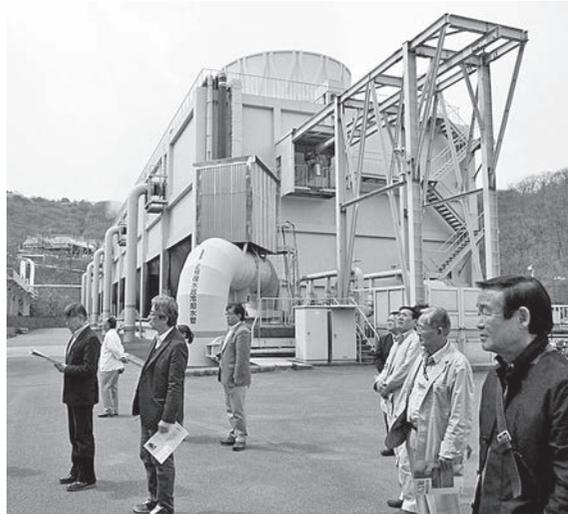
「霧島温泉を守る会」

霧島市にある大霧発電所の運転開始後、数年でえびの高原の噴気が停止し、名物の露天風呂が枯渇したという。また市町村合併により、1万人から12万人超の霧島市の一部となった霧島温泉の旅館業の方々が組織する当会は新たな発電所の計画に反対の陳情を市議会、県議会に行ったが、共に不採択となった。

一度発電が稼働すると、反対が困難なこと、また合併により元々人口の少ない地域の声が届きにくく、霧島温泉郷は厳しい状況が続いている。行政、議会共々の知見が温泉を守る上で重要である事を再確認した。

大分県玖珠郡

「八丁原地熱発電所」



国内最大の「八丁原地熱発電所」

当施設の発電は、取り出した熱水を再び地下へ戻し循環させることで環境に影響はないとのことだが、展示館のガイドによると、1/3程度しか熱水は還元されていけないとのこと。残りの2/3の熱水について疑問が残る。

また枯渇した筋湯温泉に、当施設から熱交換をし温泉として供給をしている。旅館業者は、2～3年に1本必要となる掘削に反

対すると、温泉給湯が難しくなると言われたとのこと。

私たちは地熱発電の見識を深め、先人が守ってきた温泉を後世へ引継ぎ、更なる町の発展に邁進することを改めて決意した。

平成26年6月2日
本会議にて報告
温泉温水対策特別委員長

宮崎 謹一



噴気の停止した「えびの高原」

忙中感記



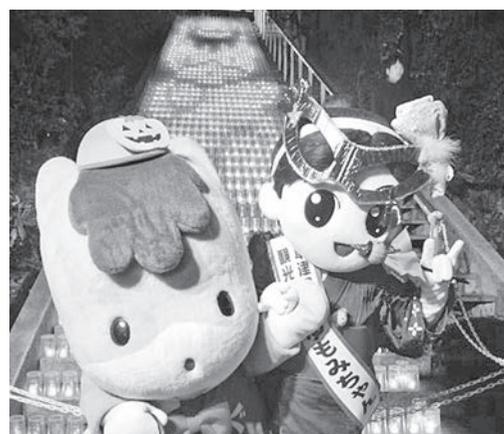
議員が順番に、日頃感じて
いることなど、自由に書く欄
を「忙中感記」として連載し
ます。12回目は湯本晃久議員
です。

湯本晃久議員

湯畑上の光泉寺の石段にて、毎月第2・第4土曜日（連休の場合）は日程が変わります。「夢の灯り」と題したキャンドルイベントが開催されています。これは2011年の東日本大震災を契機に、草津に元氣を取り戻そうという主旨で行われたことに端を発したもので、現在に至るまで、町の誘客宣伝対策事業の一環として、各団体の会員有志や職員、町・宿泊施設のスタッフの皆さんなどのボランティアにて行われており、私も参加しています。

午後6時30分頃から（季節により開始・終了時間が変動します）準備を始め、ガラスカップに入ったキャンドルに火を灯し、一つ一つ石段に並べ、アクリルのカップをかぶせます。光泉寺の山門の下から一番下の段まで51段あり、それぞれに24個ずつ、合計で

1224個のキャンドルが石段にびっしりと並べられます。お客様からは「遠くで見えていたらLEDの電光照明かと思ったら、本物のろうソクの火だったので驚いた」などと、大変好評を頂いています。
2年目からは途中で（夏は午後8時前後から）、キャンドルを部分的に消して「ゆもみちゃん」や「ぐんまちゃん」の絵を浮かび上がらせています。時折ゆもみちゃんやぐんまちゃん本人(?)たちも姿を見せて、お客様と一緒に写真を撮ったり、白旗の湯源泉の前で行われるハーモニカなどのミニ演奏会を盛り上げたりしてくれています。



お絵描きは、「何段目の何番目を消す」という図面があり、それに基づいて6人ほどで消していきます。最近では作業をするメンバーも慣れてきて、7〜8分程度できれいに絵が描けるようになりました。絵は今のところ5パターンほどあり、私・湯本が作画を担当しているのですが、元々絵心がないこともあり、最近はなかなか新しい絵が描けないでいます。どなたかいいアイデアがありましたら、お寄せ頂ければ幸いです。

午後9時30分になると、一斉に撤収作業を行います。足下にろうソクやガラスがあり、危険を伴いますが、チームワークよく、あつという間に片付いていきます。とはいえ人手が不足することもありますので、もしやってみたいという方がいらっしゃれば、会場にいるスタッフに是非お声がけください。楽しいですよ！

議会日誌（主なもの）

3月13日	中学校卒業式	4月25日	志賀・草津道路再開通式
3月16日	吾妻郡民体育祭スキー大会	4月30日	 重監房資料館
3月18日	西吾妻衛生施設組合議会 西吾妻福祉病院組合議会		
3月24日	小学校卒業式		
3月26日	群馬県町村議会議長会定期総会		
4月7日	小学校・中学校入学式	5月1日	にしあがつま福祉会評議員会
4月10日	草津白根山防災会議協議会	5月10・11日	ハンセン病市民学会 in 群馬 草津
4月14日 ～16日	地熱発電事業行政視察（九州地方）	5月19日	都市計画審議会 及び 景観審議会合同会議
4月18日	道路愛護デー	5月20日	国道146号 軽井沢バイパス同盟会総会
4月20日	ツールド草津	5月24日	群馬県植樹祭
4月23日	老人クラブ連合会総会	6月1日	氷室のふるまい

一般質問

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

水不足対策に

中水道を導入することについて



中澤 広夫 議員

ものかと思いましたが。全国の湯水地域では、下水や雨水を高度に浄化し、中水道として再利用しているところもあるそうでございます。

中水道とは、上水道と下水道の中間ということで、飲料には使用できませんが、生活排水、産業排水、雨水等を、トイレや消火用水、レクリエーション用水などに利用し、水不足を補う用途に利用される水道のことです。高度浄化の設備や新たな配管敷設等のコストが必要になってまいります。既存の処理場設備や配管敷設技術を生かし設備することで水不足が大分解消できるのではないかと思います。

Q 本年の3月の導水管の破損における夜間の断水を経験し、当町の水道資源の状況が大変厳しい状況にあることがわかりました。本年先輩方に連れて行っていただく予定になっておりますが、横手山の山間部奥までの大変な場所から水を引いているとのことで、さまざまなりスクが伴うと伺っております。その中で当局の皆様のご苦勞には大変感謝する次第でございます。新たな水源を確保できることは最善ではあると思いますが、現状はなかなか大変であると伺っております。

私は先日、当町の下水処理場を視察してまいりました。老朽化はしておりますが、大変立派な施設で、町内の下水を浄化し、湯川に流している様子を見させていただきました。そして、この水を捨てずに再利用できない

高度浄化の方法はさまざまありますが、微生物を利用する、活性炭を利用する、化学膜フィルターを利用するなどの方法が現在採用されているそうです。技術は進歩してきますので、温水利用のレベルまで浄化できることが可能になるかもしれません。また、下流域域に対しても当町は環境保全に取り組んでいる姿勢を示すことになり、エコの町としてのPRにもつながります。大変素人の考えで恐縮で

はございますが、町としましては水の再利用の考え方についてどうお考えでございましょうか。また、水不足対策を将来に向けてどのようなビジョンを持っていらっしゃるか、ご答弁のほどよろしくお願いたします。



A 町長

本年3月の水道水源導水管破損による夜間断水の際には、町民の皆様や訪れたお客様には大変ご心配、またご迷惑をおかけいたしました。

ご質問にあるように、中水道を活用できれば、遠方から険しい山間部を通して引用している貴重な水道資源の節約に貢献できるものとも考えております。

しかしながら、中水道につきましては、管路網の新たな整備が必要になってくるわけでありまして、その使用用途が限られることなどから、一部大規模な施設における設置運用を除き、現在のところほとんど普及してない状況にあります。

また、下水の高度処理技術として膜分離活性汚泥法という技術が確立されており

ます。当町の下水処理場の老朽化対策を検討している中で、この方法による改築更新の案がありました。設備投資額及び維持管理費が他の処理方法よりも割高であり、寒冷地での処理機能低下が見られるとの報告があり、見送りにしたものでございます。また、温泉及び温水分を含む水が下水に流入している場合にも処理機能低下になることも報告がされております。

さらに草津町におきましては、町内に上水道、下水道、温泉、温水、温泉の排湯、融雪など他町村にはないさまざまな配管類が道路内に埋設されており、新たな配管を敷設することは非常に難しい状況であることも認識しております。

これらのことから、町全体だけではなく、各家庭やホテル、旅館等での雨水の利用や循環型の生活水の再利用は十分可能性を秘めているものであるという認識のもと、町といたしまして今後調査研究を進めてまいりたいと思っております。

なお、今後の水不足対策という質問であります。導水管の整備や新たな水源の開発、確保に向けたさらなる調査を進め、将来においては漏水調査の継続等、安定した水道水の供給に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

要望

今、水道の問題で全国におきまして大変各市町村が設定した水道の供給事業というものはかなり水余り現象が出てきているそうです。その理由というのは、大変節水技術が働いて、非常にその効果が多くて、その施設とか、キャパシティーの見直しをしても、さらにそれが容量が大き過ぎるぐらいの余剰になってきているそうです。草津もそういう中で節水技術が働いたせいか、機能的には余裕があるという私も判断しています。ただし、この間の様な水を送る管が破裂した場合は全く違う次元の話になります。それで、今進めているのが、全て目視で歩いて悪いところをチェックをし、悪いところは予算をかけてもよいという指示をいたしまして、対策を今後とってまいりたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

ありがとうございます。やはりこの水道インフラの設備というのは生活や経済の根幹をなしますものから、ここが崩れると全てが崩れてしまうことになりまして、町側の皆様にも引き続き努力していただければと思います。

一般質問

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

草津温泉・軽井沢駅間の バス交通について



湯本晃久議員

Q 東京から草津温泉に公共交通機関で移動する場合、最も早く草津に到達できるルートは、長野新幹線で軽井沢駅を経由するルートです。特に交通事情に不案内な外国からのお客様の場合、成田空港から乗り換え2回のみでアクセスできる利便性は他に代えがたく、来年3月に迫っている北陸新幹線の金沢開通、そして世界的に大きな注目を集めている富岡製糸場の世界遺産登録、さらには来年春の善光寺御開帳も含め、草津にとってアクセス拠点としての軽井沢駅の利便性、重要性はますます高まっています。

そんな中、軽井沢駅と草津温泉を結ぶバス路線は、本数も多いとは言えず、特に軽井沢駅発の最終便が16時30分出発と非常に早く、成田に到

着された外国のお客様がその日のうちに草津に到着するのが難しいなど、遠方からのお客様に対応し切れていないという問題がございます。また、運賃も片道2千200円と高額で、草津から上京する地元の人々さえも利用に二の足を踏んでしまうような状況となっております。その結果、大型バスのほとんどが空席のまま行き来する寂しい現状が続いています。

今年3月までの間は町内のホテルにて片道千円でバスを運行し、非常に好評を得ていましたが、一昨年に関越道で発生した高速バスの事故以降、それらのツアーバスに対する規制が厳しくなり、長期的な運行継続の目処が立たないということで、現在は運行を休止されているとのことです。

長野原便や吾妻線、さらには白根山経由での志賀高原・湯田中方面のバスとの競合の問題などもあり、簡単な話ではないとは思われますが、軽井沢駅へのバス路線の充実が国内外のお客様への販売促進に大きく寄与すると思われまます。今後各バス会社や運賃に関する認可を行う国土交通省に対して町か

らの働きかけが行われることを期待しますが、町長の見解をお聞かせください。



A 町長

私も湯本議員の意見と全く同様でございます。国内外のお客様が公共交通機関を利用して首都圏あるいは北陸方面と草津温泉に来るときに新しい新幹線を使い、軽井沢経由で移動するルートが時間的にも効率のよいものであると認識をしております。その重要性についても強く認識しているものです。

またご指摘のとおり、接続する軽井沢駅と草津温泉間のバスは、便数、運行時間、運賃に問題があり、利用者が少ない現状も把握をしております。その中で、バス会社としても交通不自由者に

対して利用者が少ない中でも路線バス運行を続けていただいていることも事実です。従いまして、現状においてバスの増便や運賃値下げなど要望するためには、バス会社との協議を行い、対策を講じていかなければならないものと認識をしております。町としましても、すぐにはできることは、業界三団体とも協力し、さまざまな手段でこのルートをお客さまにPRし、少しでも利用者をおふやすことです。それと同時に、吾妻線草津号やJRバスとの関連も軽視できないものがありますので、両者のバランスを考えながら事を進める必要もあるとも考えております。

こうした中、大手エージェンツの旅行商品の中には、湯本議員が触れられた草津町内のホテルが運行しておりましたのと同様な通常運賃の半額で路線バスに乗れる商品が既に販売されており、こうした商品が数多くつくられ、広く普及されれば、運賃における問題は解消されていくものと思えます。

また、運行するバス会社では、最終便の運行時間20時あるいはそれ以降に繰り下げようとする動きもあるようですが、その動向を町としても注視してまいりたいと思っております。

いずれにしても、草津温泉の最良のアクセスル

ートをお客様に提供することは誘客増につながっていくものと考えておりますので、機会あるごとにバス会社へ働きかけていきたいと考えております。また、国交省への働きかけにつきましても、必要とあれば機運や時勢を見ながら、私のほうが出向いて、お話ししたいと考えておりますので、そのときは議会の皆様のお力もかりることはあると思っております。私も、よろしく願っています。



一般質問

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

Q1 福祉作業所などの増設を



新井祥子議員

Q 現在、障害を持っていただける作業所は西吾妻郡内では長野原町にあるやまどりだけです。けれども、既に定員がいっぱいの状況で、今後、障害を持ったお子さんたちを受け入れる場所がないとの懸念があります。

また、やまどりは地域活動支援センターということで、役割としては、障害者や障害児が地域生活を営む上で、一定の支援が必要な一人一人の状況や希望に応じて日常生活動作、社会活動参加、健康管理に関する支援を行う事業です。本格的な就労系障害福祉サービスを受けられる事業所が西吾妻地域にはありません。保護者の方とお話をすると、ご自身が病気になったときや、自身の身に何かがあったとき、その後自分の子はどうなるのだろうかという心配を皆さん口々に話されます。やまどりは現在4力町村で運営している状況です。過日、

草津町で行われたハンセン病市民学会のときも町から無償で送迎用のバスの提供があり、マイタウンティーチャールの施設など、今年度の予算も観光と変わりない予算を福祉に割いてあり、黒岩町長の施策の方針が福祉と観光の町というところ、福祉や教育に心を砕いて頂いていると感じます。この機会にぜひ草津町に新しい福祉作業所の増設のリーダーシップをとってほしいと思います。町の考えをお聞かせください。

Q2 特別養護老人ホームについて

Q 草津町には特別養護老人ホームがない、吾妻郡内ではないのは草津町だけ、と、特別養護老人ホームの設立を望む声が多くあります。町から一番近い長野原町にある特別養護老人ホームからまつ荘でも百人待ちと言われ、なかなか入所が難しい状況になっています。入所できない方にはデイサービスや病院を紹介するなど、担当の方々が様々な尽力しても、対応が困難な状況であるという話も聞かれます。

家族のいる方と違って、ひとり暮らしの高齢者の方は行政の福祉サービスの情報などもご自身では得にくく、必要な福祉サービスを知らず、サービスを受けにくい状況にある可能性もあるのではないのでしょうか。草津町でも、ひとり暮らしの高齢者の数は三百人以上と言われています。そういう状況を鑑みて、今まで草津町を支えてくださった方々が費用の負担の心配のない、安心して老後を送れるような施設が必要なのではないかと考えます。

また、町を歩いていると、草津の温泉のおかげで体が良くなり、癒されたと高齢の方から若い方まで沢山のお客様から声をかけていただきありがとうございます。そして、実際に住んでくださった方も多くおられます。幾つになっても安心・安全に暮らせる場所や福祉サービスを提供することで、温泉の癒しと共に、より訪れる方に愛され、魅力を感じていただける町になれるのではないかと感じます。町の考えをお聞かせください。

A 町長

①福祉作業所などの増設についてということであり、現在、やまどりは定員25人に対して登録者数が24名というところであり、今後の受け入れへの対応を検討せざるを得ない状況にあります。障害者施設などの社会資本

が少ない吾妻郡では、郡内関係機関による吾妻地域自立支援協議会を立ち上げ、各種の課題などの解決に向けて努力をしております。その中、西吾妻地域部会という部署にあり方について保護者の要望もあり、今後、新たなサービス事業所への移行や地域活動支援センターの増設などの話が出てくるものと思われ、報告を申し上げ、協議しながら進めてまいりたいと思っております。

また、私としてもそのような方が地元で働ければという思いで、今現在クリーンセンターに2名の方に、仕事をしていたいただいており、二人ともこの間も私が突然行って、激励をしてみましたけれども、ああ採用してよかったなど痛切に思っております。町としての取り組みを今後も考えていきたいと思っております。

②特別養護老人ホームについてであります。にしあがつま福祉会からまつ荘を運営しております。現状80名の定員に対し、草津町から16名の方が利用されております。特養については施設が大規模であることから、群馬県の介護保険計画に基づき、広域での検討が必要となります。

以前にも参入の計画がありましたが、立地要件等なかなか適合した計画が立てられず、建設に至らず、他町村内

の施設が採択となったケースがあります。草津町に設置したいという事業者があり、県の介護保険計画での許容量が許されるのであれば、実現に向けて町としても最大限努力してまいりたいと思っております。なお、ひとり暮らしの高齢者への福祉サービスの情報提供については、民生委員による訪問が行われており、現状を把握して、今後の地域での見守りや福祉のサービスなどの相談窓口の一つとなつていただきたいと思います。

また、保健センターには、地域住民の健康・福祉の増進を包括的に支援することを目的とした地域包括支援センターがあります。保健師や介護支援専門員を配置しております。総合的な相談業務を行っておりますので、ぜひ活用していただきたいと思います。

私は福祉も充実するということですが、逆に2名を採用し、お年寄りや、また、町民の皆様が元気で過ごされるよう、専門家ということで採用したわけでございますので、その辺もご理解をいただきたいと思います。それら、町営住宅、前原団地等々、一つのルールに基づいてつくってきたわけであり、ですから、これらをも活用するか、行政内部でも少し考えていきたいと思います。

一般質問

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

Q1 草津町の道路整備について



上坂国由議員

Q 道路や歩道は町民の財産であり優先的なインフラ整備ですが町内全域を見ると、側溝のゆがみによる凹凸や路面の段差など歩行に危険な場所も見受けられます。側溝のふたの劣化やグレージングの損傷等早期に対策を行っていただけると安心して歩行ができ、住みよい環境につながると思いますが、今後どのような安心な道路づくりをお考えか。

A 町長

冬期間の除雪や凍結などによる損傷、加えて酸害による鉄製のグレーチングや側溝ふたなどの劣化が進んでいることは私も認識をしています。道路管理上の瑕疵につながるような箇所は速やかに解消していかなければいけないと思ひ、担当に対してそういう安全性を保つ指示

Q2 保育園の運営について

Q 核家族傾向にある現代社会、そして共働き家族が基本となっている現実、観光地の休日の保育に苦慮されている。草津町の子育て環境のニーズに対応した保育園運営が必要と思いますが、土日保育や保育料の検討など、今後どのように保育園運営をし、どのような方針を考えるか。

A 町長

現在の状況は、土日保育については、毎土曜日には午前中、具体的には午前八時から12時を開園とし、保育を行っている。また、日曜保育については、8月の繁忙期に希望者に対して保育をもう既にやっている。また、保育料については、国の基準、措置費が定められているが、これに基づき保育料を各自自治体で設定するが、草津町の保育料は、現在の国の基準の約半分程度。保護者負担の軽減を行っており、基準額との差については町が負担して、保護者の方への軽減に努めている。今後土日保育や延長保育等、保育のニーズに応じていきたい。また草津町の今現在幼稚園の将来についてもい

再質問

ろいろ施設管理者のほうから話を聞いているので、それらを含めて、子供たちをお預かりすることにについては総合的に判断して、町民の皆様方が預けられないような状態にならないように、先に手を打ち、いろいろと検討したい。

Q どうしても優先順位というのが顕著に見られない箇所も出てくるが道路にかける思いというのをもう少し具体的に。また、保育園も国の基準から二分の一はわかるが、都会とは違う基準で考えていただかないと、当町はかなり厳しいと思う。その中で本当に祖父母や知人に負担をかけるような環境だと、住みづらい、子育てしづらいのではないかと。できれば町長の意気込みでぜひ町に負担をしていただけるとありがたいのだが、答弁をお願いいたします。

A 町長

道路整備については、それぞれの問題の視点というものはいろいろある。そういう中、総合的に判断しなければならぬ部分、限られた予算という中で、各議員の目につくところの融雪等々があると思うが、これはやはりどこ

をどういうふうにするかは行政側に判断を委ねていただきたい。融雪の要望が多く出ているがとてむすぐ対応できる問題ではない。そういう中、目標を立てて、これからは大きな道路を全面的にというのとはなかなか難しいと述べたが、それは熱源と、予算の問題であると。そういう中で皆さんにお示ししたのが、一般の道路であっても一部そこを町民の皆様、お客様が歩けるスペースだけという方法もあるんじゃないかと判断をして、歩く歩行者に優しい道路整備というものに頭を切りかえました。だからといって全面道路を部分的にはしないという意味じゃない、そういうところも出てくると思う。大変膨大な費用がかかりますので、ぜひご理解いただきたいと思います。

保育園の問題については以前から上坂議員からいろいろご指摘をいただいているが、いろいろの中で行政、さまざまな仕事をしなければならぬので、それらも総合的に福祉と観光のバランスのとれた町づくりを私は進めてきたつもりであり、福祉関係、特に教育関係、予算を割ってきたつもりであり、言われることは承知していますので、その辺のご理解も逆にお願ひしたいというふうに思います。

一般質問

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

草津町外周道路の融雪状況について



山田英器議員

Q 現在、草津町の外周道路で融雪工事が行われていないのは2カ所です。

1カ所は天狗山温泉街連絡車道線にある天狗山レストハウス正面約200m間の道路、もう1カ所は同じく天狗山温泉街連絡車道線、お宿はぎわら付近から約120m間の道路です。

特にこの120m間の道路は建物の陰になり、日照時間が短く、積雪があると凍結しやすい危険箇所であり、地域住民はもちろん、スキー場へ行き来する観光客も利用する道路です。

融雪状況について

問題は下り線です。融雪が効いている箇所から突然融雪がなくなります。一番の問題は保育園に通う園児の送り迎えで、ほぼ毎日利用する親御さんがいることです。事故等が起きる前に一刻も早い整備が必要だと思います。

そこで、3点質問します。

①現在、120m間の道路を融雪にする計画はあるのか。

②計画があるとしたらいつごろ工事を行うのか。

③施工するとしたら、いくら工事費がかかるのか。

A 町長

総合的に判断し、

再度年次計画の見直しを行う

交通量も多く、重要な路線と認識しています。

この2カ所については国の交付金事業を活用し、昨年度から4カ年の年次計画により、昨年度第1期分を実施しました。

今年度は、熱源確保ができる2路線を優先して実施し、当該箇所の第2期融雪工事は先送りをしました。

融雪実施要望については、町民から多数寄せられています。熱源、予算等の問題から直ちに実施できない箇所があるのも事実です。

車道部分、歩道部分の融雪について危険箇所の回避、財政面など考慮し、総合的に判断し、再度年次計画の見直しを行い、実施時期については検討していきます。



融雪道路



3点目の幾らかかるのかという質問は質問事項になかったため、担当から答弁をさせます。

A 土木課長

概算額ですが4千200万です。

要望

保育園まで車で送り迎えしなくてはいけない、お母さんたちの要望もありました。一刻も早い整備をよろしく願います。

町民ひろば

町民ひろばでは
皆さんの趣味や活動の紹介などを募集しています
お問合せは
草津町議会事務局 Tel 88-7191 まで

今回のご紹介

～やすらぎの会～



障害者の方の社会参加を手助けするボランティアとして1982年に発足し、活動をはじめて今年で32年目を迎えます。

- ◆会員数 10名
- ◆会費 1,200円 (年額)
- ◆活動内容

障害者(特に視覚障害者)の社会参加活動の支援をしています。

草津町身体障害者の会・盲人の会の研修旅行や食事体験、歩行訓練、カラオケ、ショッピング等の外出のお手伝い等です。

具体的には、歩行時の手引き(移動の介助)買物や、食事時の介助です。

同行時に、コミュニケーションを図りながら周囲の状況説明等の情報の提供をし、障害者の方々が安心して安全に行動できるような配慮をして活動しています。



◆会員募集◆

やすらぎの会では、障害者の方々の社会参加の充実を支援するためにご協力いただける人材を探しております。

ボランティアを通じて、新しい発見や仲間づくりをして自分磨きをしてみませんか？

ご興味のある方は下記までお気軽にお問い合わせください。

草津町社会福祉協議会 やすらぎの会担当
TEL. 88-1050



編集後記

梅雨空の続く毎日ですが、この号が発刊されるころには夏空が広がっていることと思います。

6月定例会が終わりました。今回の定例会は比較的、議案が少なく承認、報告事項が多いといった印象でした。

今回、新しく広報委員になってから2度目の編集作業に参加いたしました。

正直、議員になる前は「議会だよりハーモニー」を目にしたことはありますが真面目に読んだことはありませんでした。

実際、編集に参加して読んでみますと内容が非常に多岐にわたり、構成も複雑なことから町民の皆様にご覧いただくためには、一工夫も二工夫も必要であると思いました。

町政では何が行われて、どういった状況にあるのか、又、どうすべきなのか、といった、町への関心を町民の皆様に、持っていただくことが、この「ハーモニー」の役割だと思います。

個人から町全体へと意識の方向が変わり、考え、動くことによって、個人がより成長してゆく。そのような過程の役割の一端をこの「ハーモニー」が担えるように広報委員として努力していきたいと思えます。

(中澤)

広報委員会
委員長 羽部光男
委員 山田英器
" " 上坂国由
" " 中澤国由
" " 湯本晃久

《訂正とお詫び》

前回(平成26年5月2日)発行の第128号中、次の2箇所について誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

3ページ、予算を読み解こう中、「交付金」「補助金」の違いって?とあるのは、「交付金」「負担金」の誤りでした。

4ページ、条例制定・改正等の議案第19号3行目の「温泉引用増量許可」は「条例の制定について」の誤りでした。